

高齢者支援と地域医療



加藤ハツエさんは、身長155cm、体重56kg、BMI23.31の64歳の女性です。北海道の利尻島で漁業を営む父母の三人姉妹の末っ子として生まれ、高校卒業後、地元の水産加工会社に就職しました。いまは、その会社に昆布の加工をするアルバイトとして勤めています。(現在は、本土で治療のため病休)



昨年、長年連れ添ってきた夫が、ガンで亡くなりました。37歳になる娘が一人いますが、札幌に嫁いでいるため、現在、加藤ハツエさんは一人暮らしとなっています。

二年前、加藤ハツエさんは腰椎圧迫骨折で近くの病院に3ヶ月入院しました。その後も腰痛が続き水産加工の仕事も辛くなりました。
また、夫との死別もあり、やる気を失ったり、食欲が振るわなかったりしています。原因は不明なのですが、一年間で体重が10kg減少しました。そのため、現在、札幌の病院で検査と治療を受けています。

4

■ 医学的な治療内容(服薬内容)

骨粗しょう症
ベネット(35) 1T/1X起床時

疼痛時
ロキソニン1T 1X、ムコスタ1T 1X頓服

主に腰痛による運動障害や気力減退、食思不振が見られますが、骨粗しょう症に対してベネット(35) 1T/1Xを起床時に服用しています。
また、疼痛時には、ロキソニン1T 1X、ムコスタ1T 1Xを頓服しています。

5

■ リハビリ評価

ADL自立

■ 心身機能・身体構造 (Body Functions & Structures)

#筋力低下 #易骨折性

■ 活動 (Activities)

ADL自立

■ 参加 (Participation)

家庭復帰(独居)、社会復帰

リハビリの評価や生活機能の評価は、表の様になっています。

6









退院して利尻島の自宅へ帰っても介護者は居ません。また、娘はパート勤務をしているため娘宅へ退院しても介護者の問題があります。

10



精神的にやや抑うつ傾向にあります。

11



年間、遺族年金とアルバイトの収入の合計180万円で生活していました。
なお、住居がアパートのため家賃が月額45,000円(年額54万円)が必要です。

12

介護保険被保険者証

氏名	
性別	
生年月日	
住所	
氏名	
性別	
生年月日	
住所	
申請者	
申請日	
有効期限	
申請者	
申請日	
有効期限	

現在、福祉制度を利用していませんが、65歳から介護保険の申請を行うことが望ましいようです。

13

築30年の二階建てアパートの二階に居住しています。間取りは、2LDKです。二階までの階段は、やや急で上り下りを億劫に感じています。家屋の内部には、介助具は設置されていません。トイレは和式です。

14

通院

検査・リハビリ

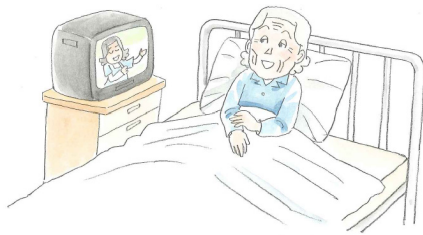
通院するには、車で30分ほどかかります。十分な検査やリハビリを受けるためには、島外に出る必要があります。

15



排便は一日1回で、排尿の困難はありませんでした。入浴は、毎日自宅で行なっていました。洗濯・掃除などすべての家事は全部自分で行ない、買い物は、一週間に1回、友人の車で行くことが多かったということです。近くには、歩いていけるコンビニエンスストアはありません。

加藤ハツエさんは、趣味は特になく、アルバイトの無い日は、一人で過ごすことが多く、気が向けばテレビを見て過ごします。



入院中、リハビリ以外は、一日中テレビを見て過ごすことが多く、内服薬は処方通りに、正確に飲んでいましたが、自宅では、忘れることもあります。

QOL向上を目指す専門職間連携教育用教材
高齢者支援と地域医療

制作著作 Copyright © 2011
 「QOL向上を目指す専門職間連携教育用モジュール中心型カリキュラムの共同開発と実践」
 (文部科学省 平成21年度 戦略的大学の連携支援事業採択事業)
 新潟医療福祉大学・埼玉県立大学・札幌医科大学・首都大学東京・日本社会事業大学

原案 Portions Copyright © 2011
 苗代康可(札幌医科大学)
